クイズです、写真のカードは、何カードでしょうか？　(3/2)

10年後の更新はなさそう……(^o^)

クイズです。
上の写真（注：若干、モザイクを入れ、文字・数字は修正）のカードは、何カードでしょうか？
正解は、「taspo（タスポ）」カード。

タスポ・カードと云われても、恐らく分かる方は少ないし、殆どの方は今後も縁がないでしょう。
タスポ・カードとは、今年から全国的に順次設置される「成人識別付きたばこ自動販売機」専用のIDカード。

このカード導入については、先に当HPの記事「『喫煙者に顔写真入りのIDカード』の記事を目にして（「雑学BN」のマスコミ等コメント関係（Ⅱ）、2005.10.28. ：参照）で触れたことがある。
要は、喫煙家はこのカードをたばこ自販機にかざさないと、たばこを購入出来なくなる。
つまり、未成年者がたばこ自販機で購入出来なくするという目的の施策から生まれたカード。

宮城県では5月から成人識別機能付きたばこ自販機が可動することから、喫煙家である自分は、「どうせ、必要で手続しなくてはならないのなら…」と、早速手続きし手に入れた。
手続きは無料だが、顔写真と成人であることを証明する公的書類の写しが必要なほどの念の入れよう。

未成年者のたばこ購入の抑止効果はあるだろうが、でも、ちょっと考えてみると、おかしな話。
コンビニ等でのたばこ購入は、カードがなくても出来る。
コンビニ等では「店員と顔を合わせての購入だから、成人か、未成年者かは分かる」ということかもしれないが、19才11ケ月の青年の顔と、1ケ月後に20才になった顔を見分ける透視能力があるとでもいうのだろうか。
また、「オヤジに頼まれたから」とお手伝いを喜んで購入にきた子どもに、店員は親を慕う子どもの心を傷つけないように、どう対応するのだろうか。
はたまた、たばこ自販機は全国約56万台とか。
これら全てを成人識別機能付きに変えるとなると、カード作成や自販機の改良等に膨大な経費がかかるだろうだけに、行政と自販機業界等の癒着故の施策かと、勘繰りたくもなる。

「あれこれイチャモンをつけるぐらいなら、その前にたばこを止めろ！」と云われそうで、「ハイ、もう何も言いません！」

さて、カードの有効期限は10年で、たばこの箱の健康への注意書きを気にかけない自分には、更新はないか……(^o^)

- 「雑学BN」
- 「雑学・フォトアルバム」